

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S19	施策名	老人憩の家の利活用と管理方法の見直し
担当部課	福祉部長寿課	関係部課	財政課、たつせがある課

基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみよう」でつながるまち
	行政改革指針・重点課題	6 協働事業の拡大
	法定受託事務の有無	無
	その他（関係計画、要綱等）	有 長久手市老人憩の家の設置及び管理に関する条例、同施行規則
施策開始の背景、経緯等	施設の老朽化が進む中で、使用頻度が少ない地域や近接する地域集会所との利用の棲み分けができておらず、有効活用を検討する必要性が生じている。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 市内に7カ所ある老人憩の家は、高齢者の心身の健康増進を目的に整備されたが、対象者が限定的であり、使用頻度が低い箇所もあることから、多世代が多様な目的に利用できる地域の交流の場として活用することができるようにする。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 「65歳以上の高齢者」以外の世代、老人憩の家
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 多世代が多目的に利用することができる地域の交流の場とし、施設の稼働率を向上させる。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討、施設維持管理費の削減、利用率の拡大				
		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		R3年度の公共施設マネジメント推進会議の結論により、ソフト面での有効活用方針の検討	ソフト面での有効活用方針の検討	ソフト面での有効活用方針の検討	ソフト面での有効活用の実施	ソフト面での有効活用の実施
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②	地域ごとの実情に合わせた有効活用の検討、施設維持管理費の削減、利用率の拡大				
		R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)
		成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
		R3年度の公共施設マネジメント推進会議の結論により、ソフト面での有効活用方針の検討	ソフト面での有効活用方針の検討	ソフト面での有効活用方針の検討	ソフト面での有効活用の実施	ソフト面での有効活用の実施
		費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)
		特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
						
		市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み
		(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 若老人憩の家と打越集会所が隣接しているため、憩の家管理者(シニアクラブ代表者)と集会所管理者(自治会長)と担当課(財政課、たつせがある課、長寿課)により、双方の有効活用及び統廃合に関する意見交換を行ったが、両当事者から相互の有効活用に対して前向きな意見が得られなかった。また、いずれも維持管理コストが小さいことから、統廃合によるコストメリットは見いだせなかった。このため、令和3年度公共施設マネジメント推進会議にて統廃合は困難との結論に至り、今後は担当課にて有効活用の検討を行うことに決まった。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) いずれの憩の家においても、コロナ禍により定員や行為制限を設けた中での運用をしていたことから、具体的な有効活用の検討が難しい状況であった。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 駐車場が十分に確保されている施設がなく、利用を呼びかける対象範囲が限定的となる。老人憩の家の管理を委託し日常的に使用しているシニアクラブとの意見交換が必要となる。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 隣接する憩の家と集会所の統廃合について検討したが、いずれも維持管理コストが小さいことから、改修や解体にかかるコストが大きく、コストメリットはあまり得られないと思われる。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 各老人憩の家の管理者(シニアクラブ代表者)に対して、ソフト面を中心とした有効活用策の聞き取りを行う。